

Ⅲ 調査結果の分析

1. 地域活動について

(1) 地域の活動への参加

◆ 7割が不参加、参加が最も多いのは町会などの活動が1割半

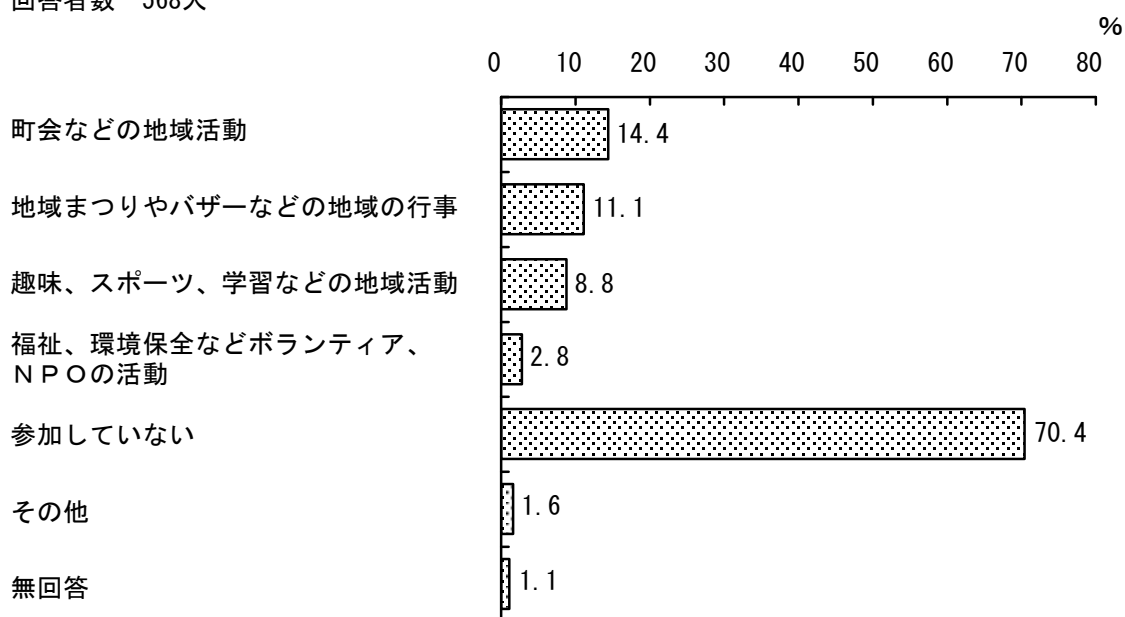
(全員の方に)

問1. あなたは、どのような内容の地域の活動に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○)

〈図1-1〉全体

回答者数 568人



参加している地域活動としては、「町会などの地域活動」(14.4%)が最も多く、以下、「地域まつりやバザーなどの地域の行事」(11.1%)、「趣味、スポーツ、学習などの地域活動」(8.8%)、「福祉、環境保全などボランティア、NPOの活動」(2.8%)の順になっている。一方、「参加していない」と答えた人は70.4%となっている。(図1-1)

性別に見ると、どの活動においても女性の割合が高くなっており、特に、「地域まつりやバザーなどの地域の行事」では女性(15.2%)が男性(6.5%)より8.7ポイント高くなっている。また、「趣味、スポーツ、学習などの地域活動」(男性5.7%、女性11.6%)では、女性の方が5.9ポイント高くなっている。一方、「参加していない」(男性77.7%、女性63.9%)と答えた人では男性の方が13.8ポイント高くなっている。(図1-2)

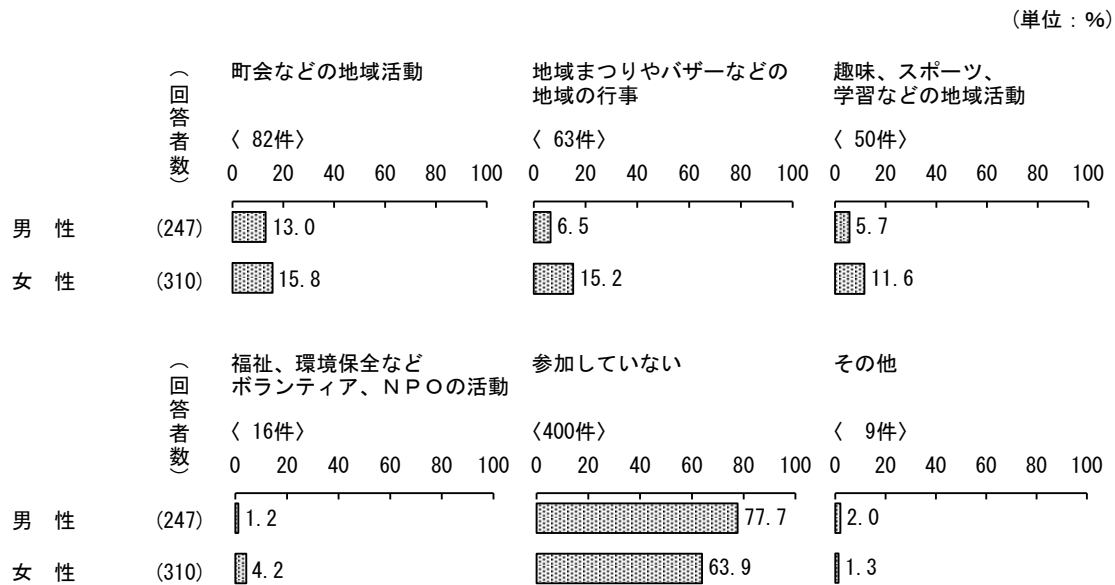
年齢別に見ると、「町会などの地域活動」と答えた人は60歳代以上で20%以上と高い。また、「参加していない」と答えた人は20~30歳代で85%以上となっている。(図1-3)

職業別に見ると、どの活動においても家事専業で高くなっている。また、「参加していない」と答えた人は正規の職員・従業員、労働者派遣事業所の派遣社員、学生で80%以上となっている。(図1-4)

中野区での居住年数別に見ると、「参加していない」と答えた人は1年未満で94.4%、1～5年未満で87.8%となっている。(図1-5)

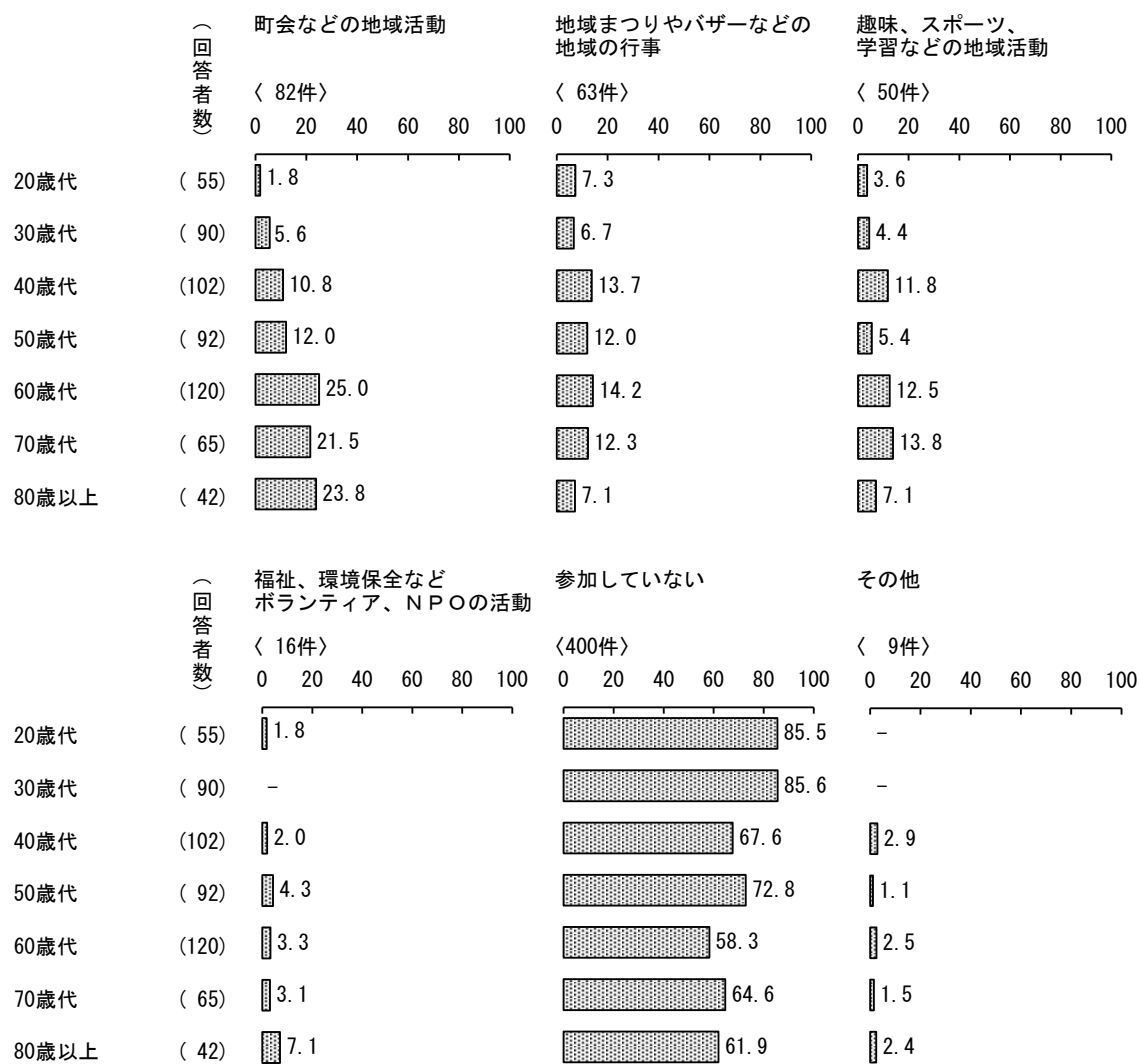
前回の調査結果(平成21年度)とは大きな差は見られない。(図1-6)

〈図1-2〉性別



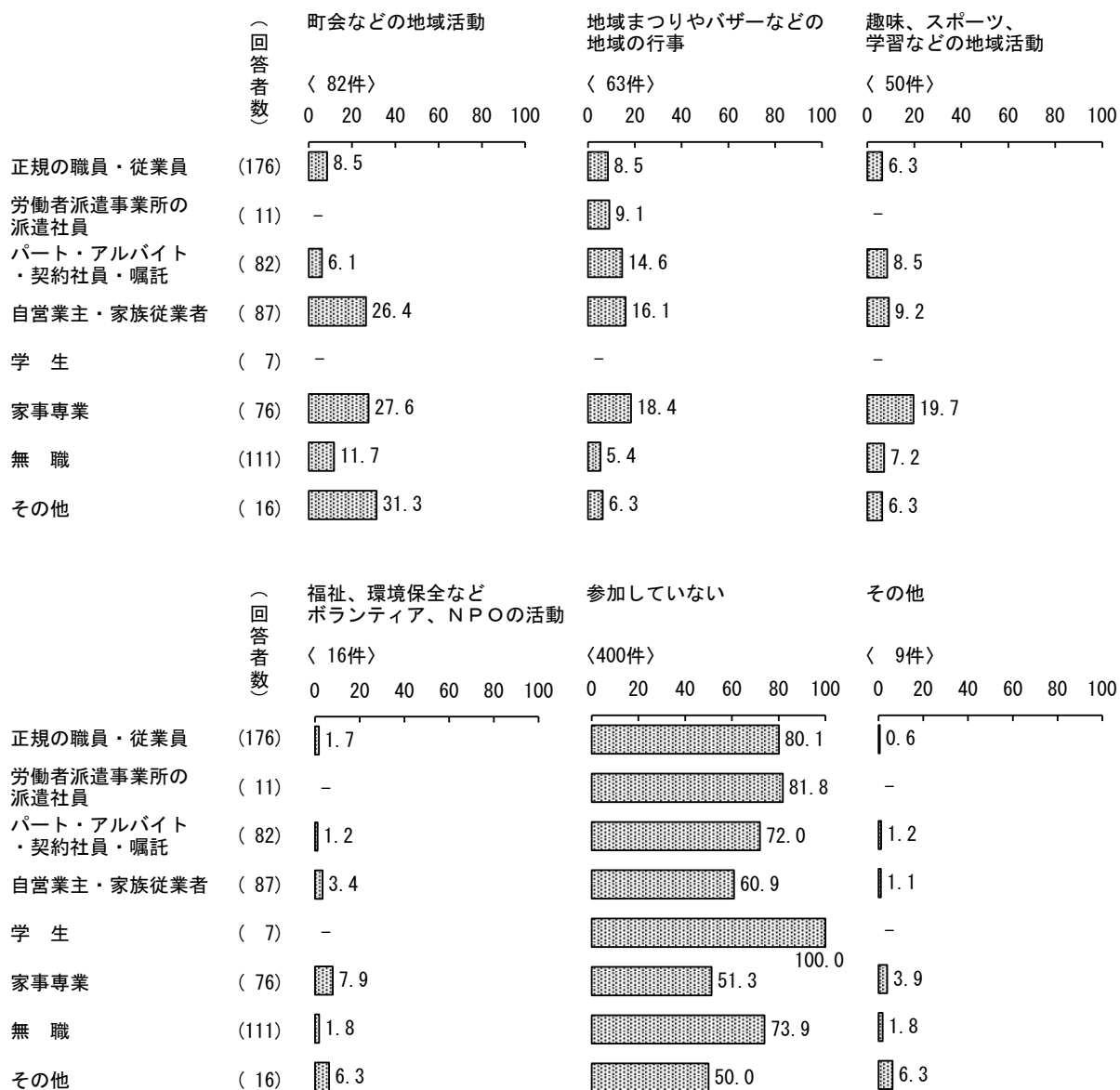
〈図1-3〉年齢別

(単位：%)



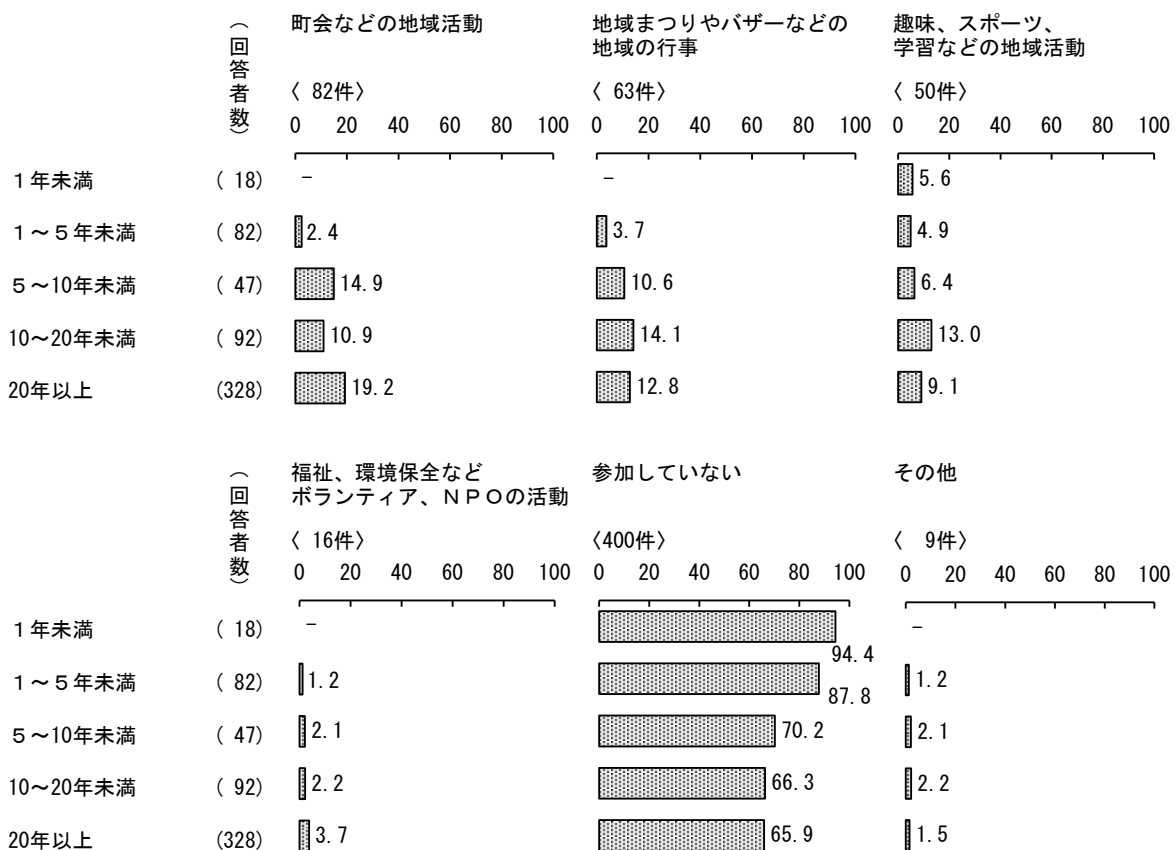
〈図1-4〉職業別

(単位：%)



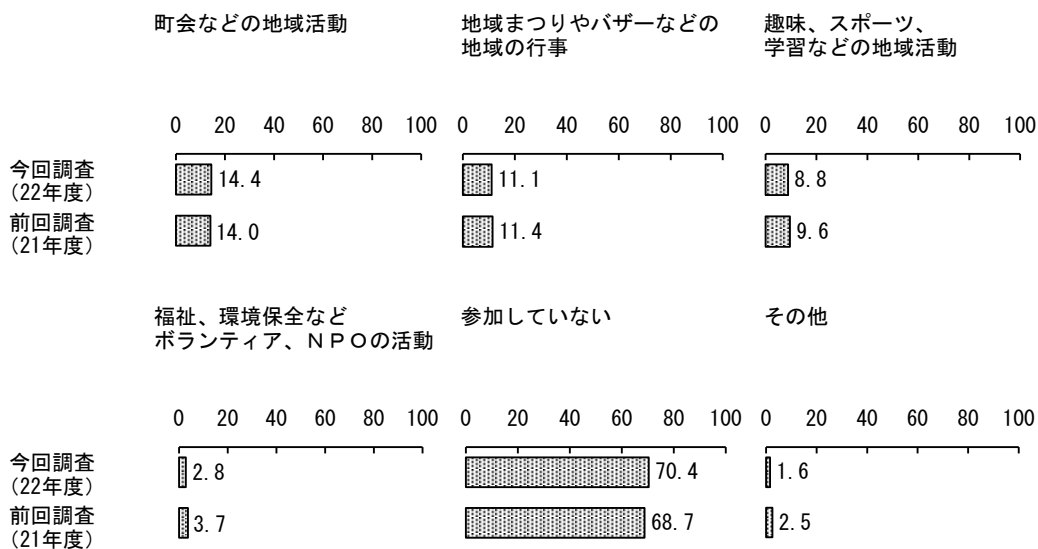
〈図1-5〉 居住年数別

(単位：%)



〈図1-6〉 前年度との比較

(単位：%)



(2) 近所づきあいの程度

◆「顔を合わせたときに会釈する程度」が4割強、「たまに世間話する程度」が2割半

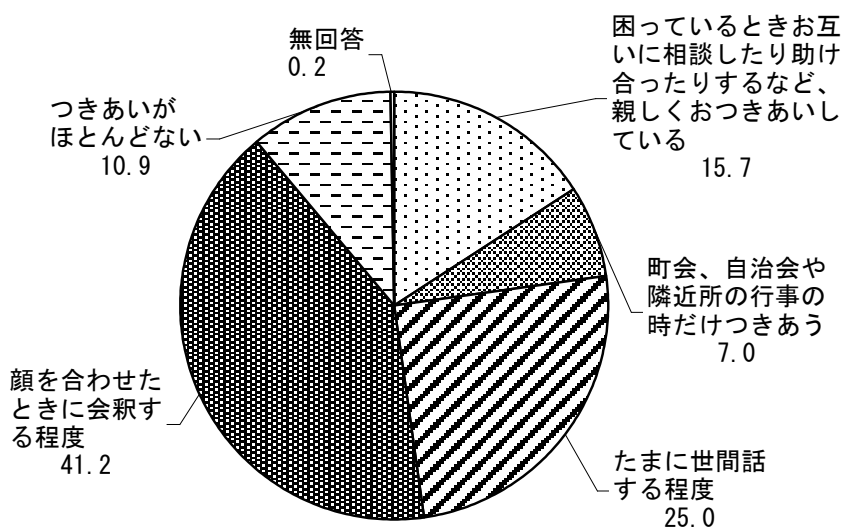
(全員の方に)

問2. あなたのご近所とのつきあいはどのようなものですか。(○は1つ)

〈図1-7〉全体

回答者数 568人

単位：%



近所づきあいの程度については、「顔を合わせたときに会釈する程度」と答えた人が41.2%で最も多くなっている。以下、「たまに世間話する程度」(25.0%)、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」(15.7%)、「町会、自治会や隣近所の行事の時だけつきあう」(7.0%)となっている。また、「つきあいがほとんどない」と答えた人が10.9%となっている。(図1-7)

性別に見ると、男女とも「顔を合わせたときに会釈する程度」が最も高いが、その割合は男性が44.9%、女性が38.4%と6.5ポイントの差が見られる。女性は「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」(女性18.4%、男性11.7%)と「たまに世間話する程度」(女性28.1%、男性21.5%)でともに男性よりも6ポイント以上高くなっている。(図1-8)

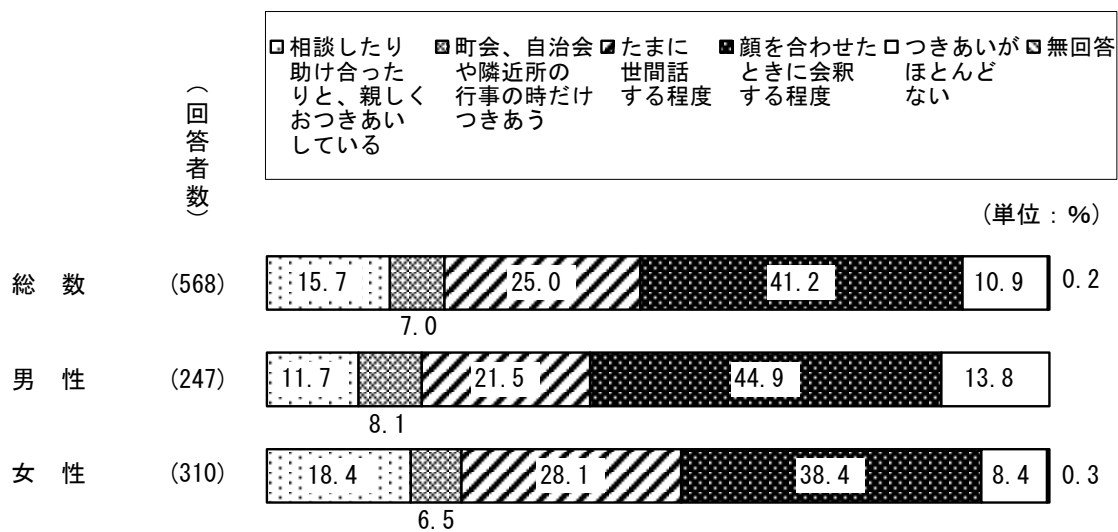
年齢別に見ると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」と答えた人は70歳代で32.3%と最も高く、60歳代、80歳以上で20%以上となっている。また、「たまに世間話する程度」と答えた人は60歳代、80歳以上で35%以上、

「顔を合わせたときに会釈する程度」と答えた人は20～40歳代で50%以上、「つきあいがほとんどない」と答えた人は20歳代で27.3%、30歳代で20.0%、などとなっている。(図1-9)

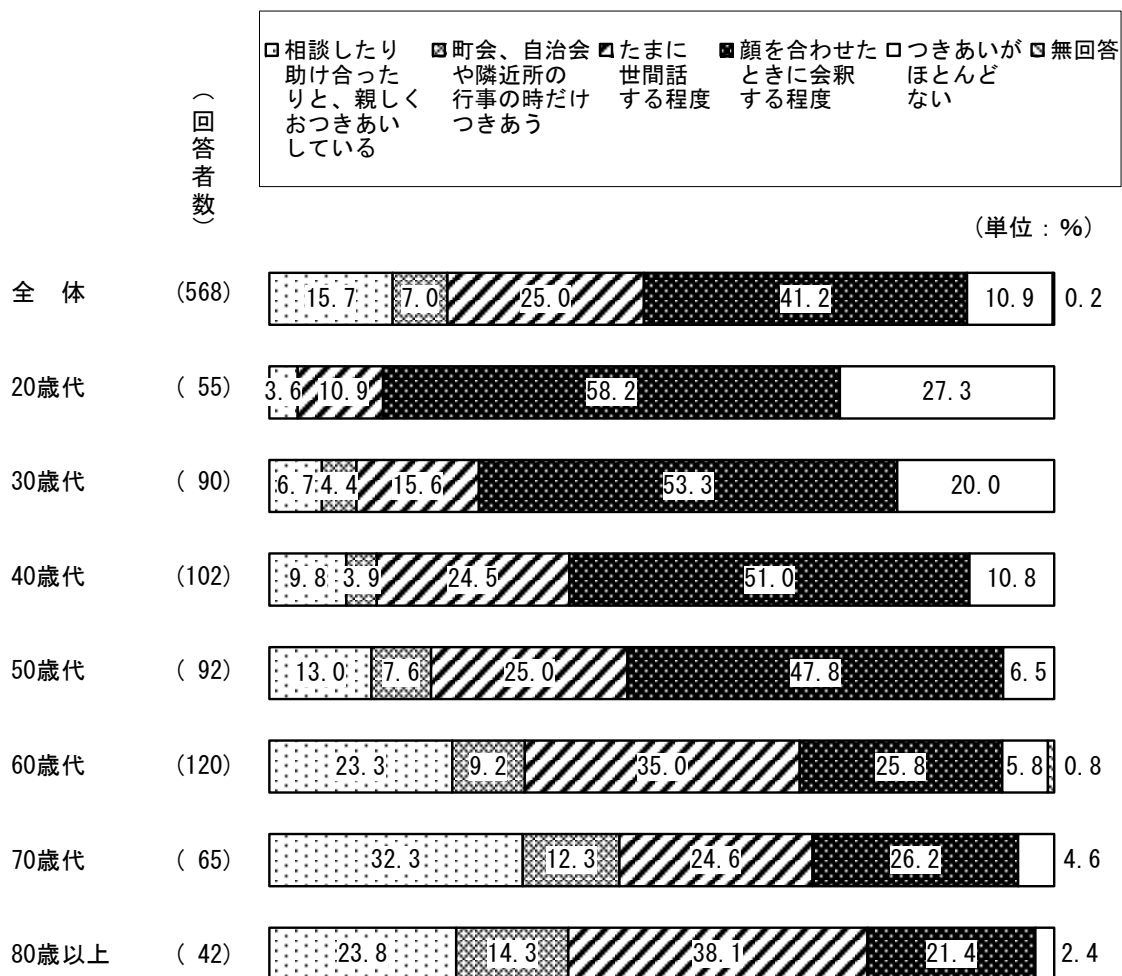
職業別に見ると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」と答えた人は家事専業で30.3%、自営業主・家族従業者で26.4%、「顔を合わせたときに会釈する程度」と答えた人は労働者派遣事業所の派遣社員で72.7%、パート・アルバイト・契約社員・嘱託で54.9%と高くなっている。また、「つきあいがほとんどない」と答えた人は正規の職員・従業員で19.9%と最も高くなっている。(図1-10)

住居形態別に見ると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」と答えた人は社宅、社員寮、公務員住宅と持ち家(一戸建て)で20%以上となっている。また、「つきあいがほとんどない」と答えた人は社宅、社員寮、公務員住宅で35.7%、民営の賃貸住宅で25.8%となっている。(図1-11)

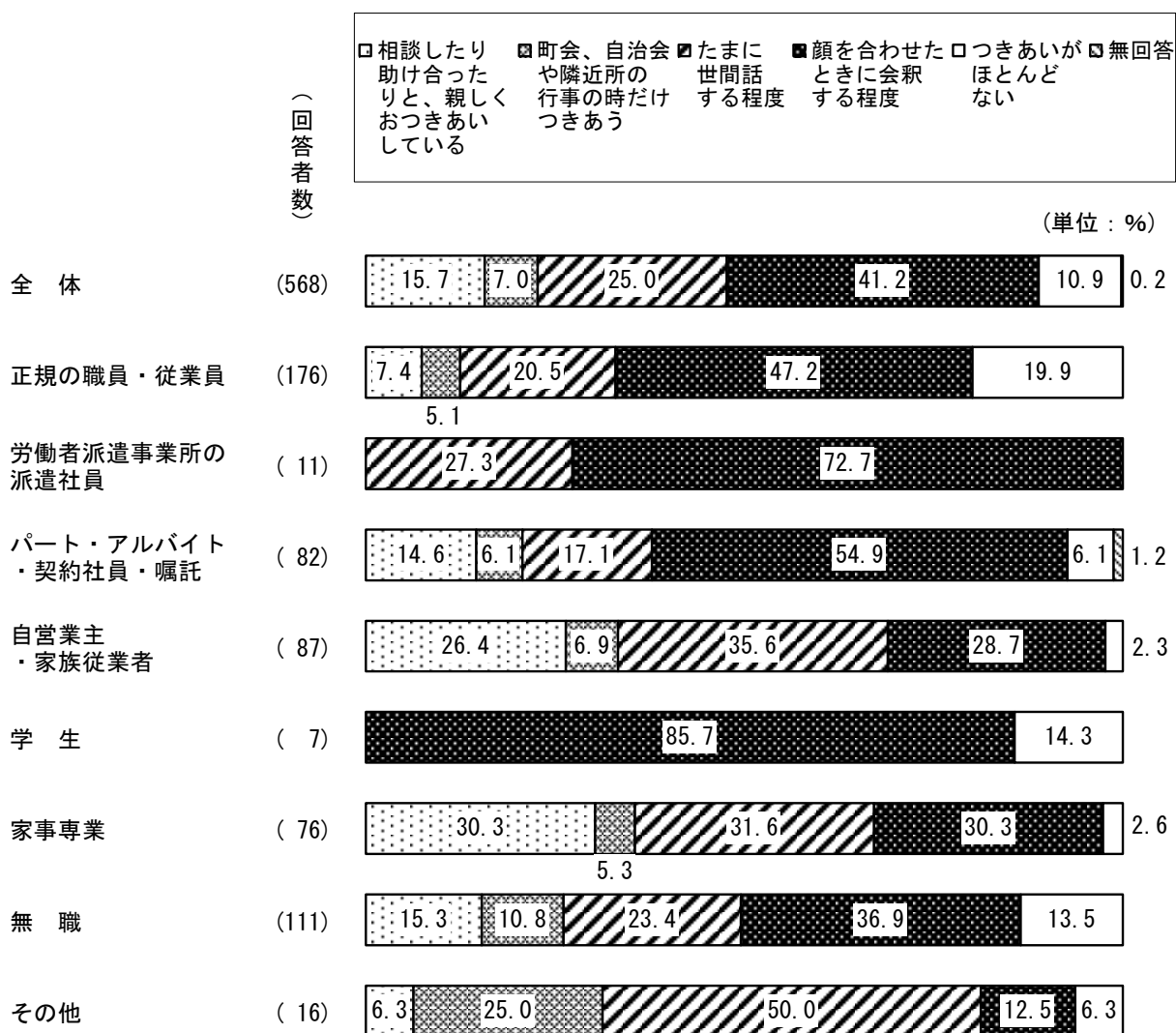
〈図1-8〉性別



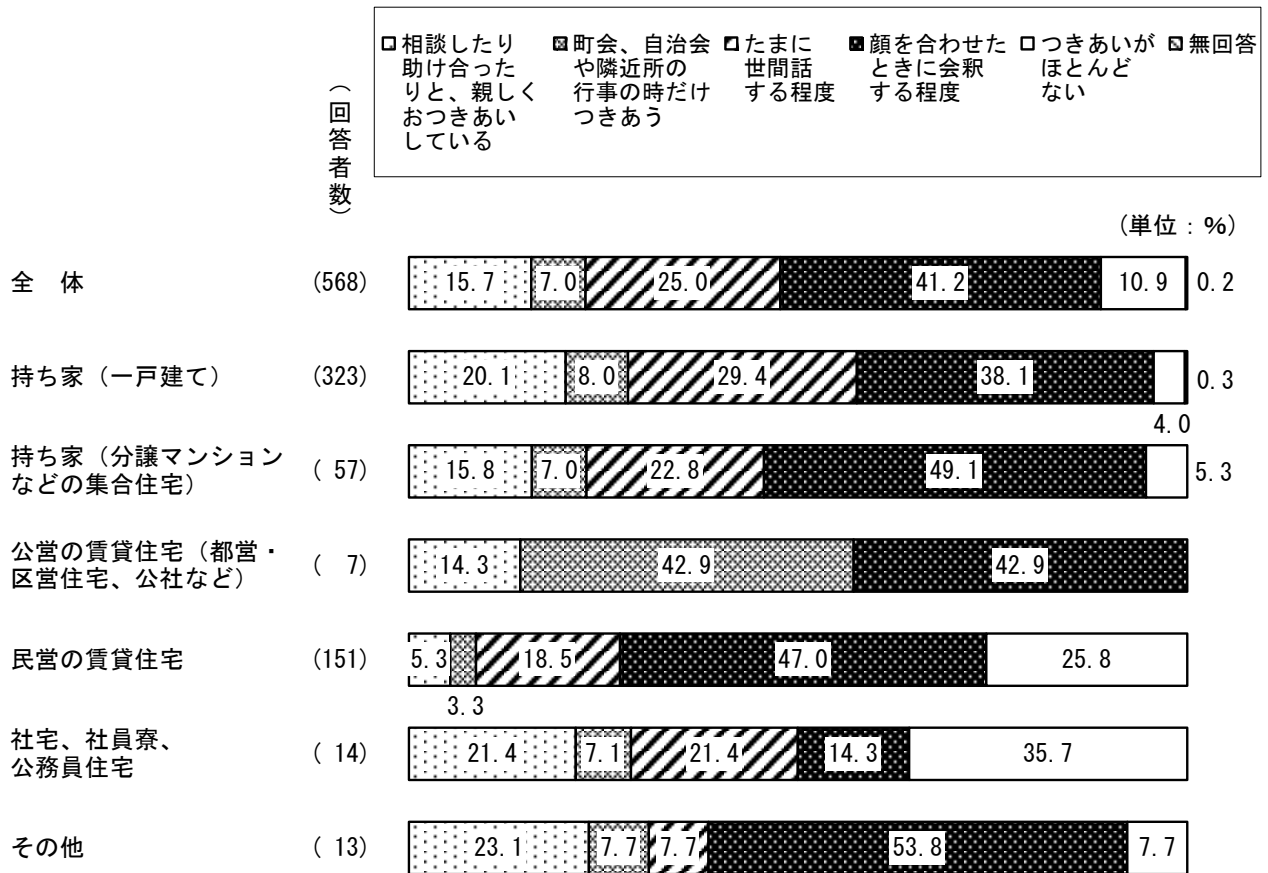
〈図1-9〉年齢別



〈図1-10〉 職業別



〈図1-11〉住居形態別



(3) 地域住民間の見守りや支えあいの活動

◆実際に見守りや支えあいの活動をしている人は2割弱

(全員の方に)

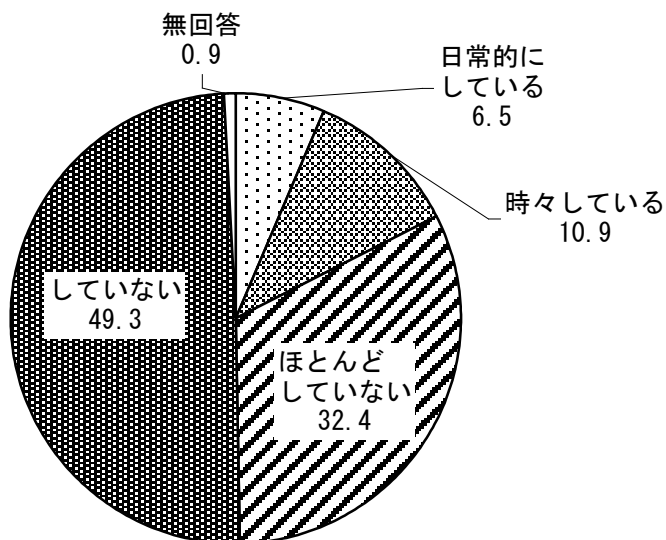
問3. あなたは、地域住民間の見守りや支えあいの活動※をどの程度していますか。

(○は1つ)

〈図1-12〉全体

回答者数 568人

単位：%



※地域住民間の見守りや支えあい…高齢者世帯や障害者世帯、子育て世帯などに対する声かけや困りごとへのちょっとしたお手伝い

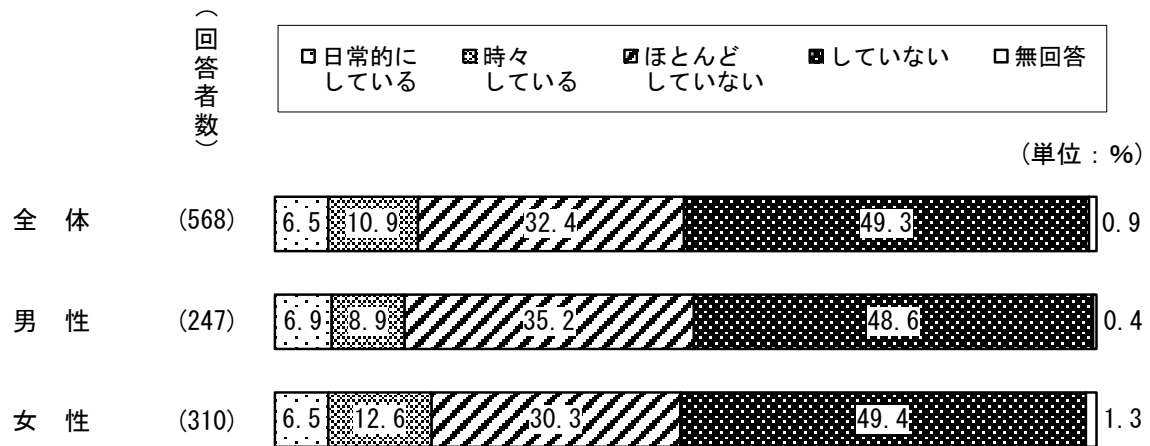
地域住民間の見守りや支えあいの活動を「日常的にしている」と答えた人は6.5%、「時々している」と答えた人は10.9%で、この両者を合わせた“活動している”は2割弱である。一方、「ほとんどしていない」と答えた人は32.4%、「していない」と答えた人は49.3%となっている。(図1-12)

性別に見ると、「ほとんどしていない」と「していない」を合わせた“活動していない”人の割合は男性(83.8%)が女性(79.7%)より4.1ポイント高くなっている。(図1-13)

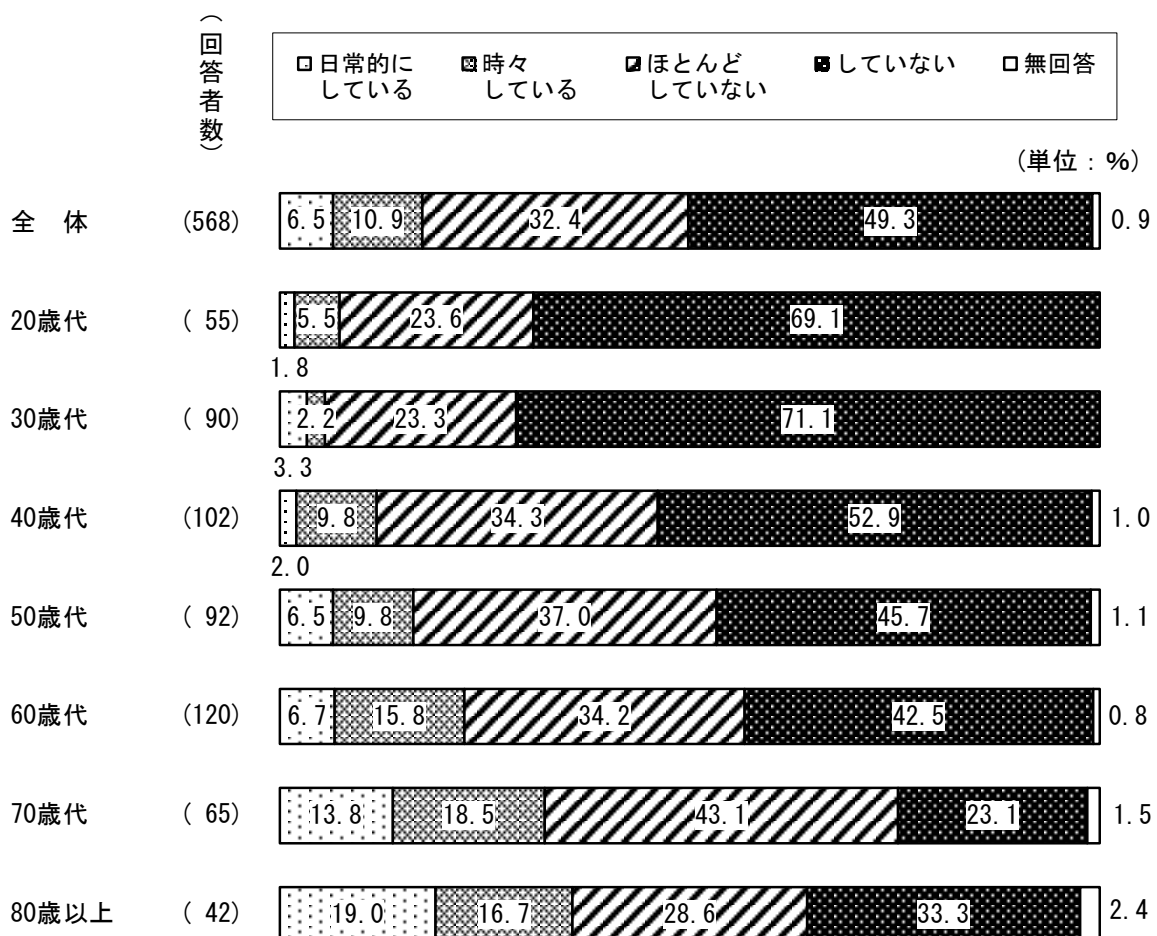
年齢別に見ると、“活動している”人の割合は70歳代以上で30%以上となっている。一方、“活動していない”人の割合は20~30歳代で90%以上と高くなっている。(図1-14)

居住年数別に見ると、“活動している”人の割合は20年以上で24.4%と高い。一方、“活動していない”人の割合は5年未満で90%以上と高くなっている。(図1-15)

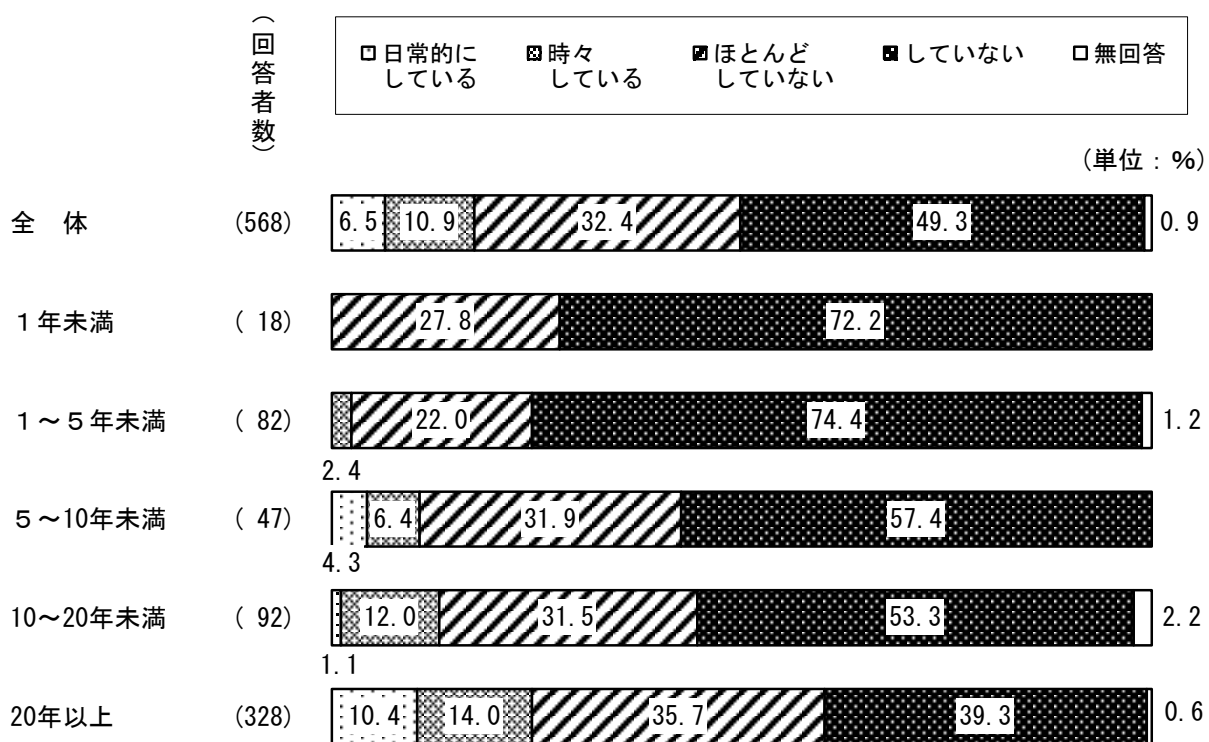
〈図1-13〉性別



〈図1-14〉年齢別



〈図 1 - 15〉 居住年数別



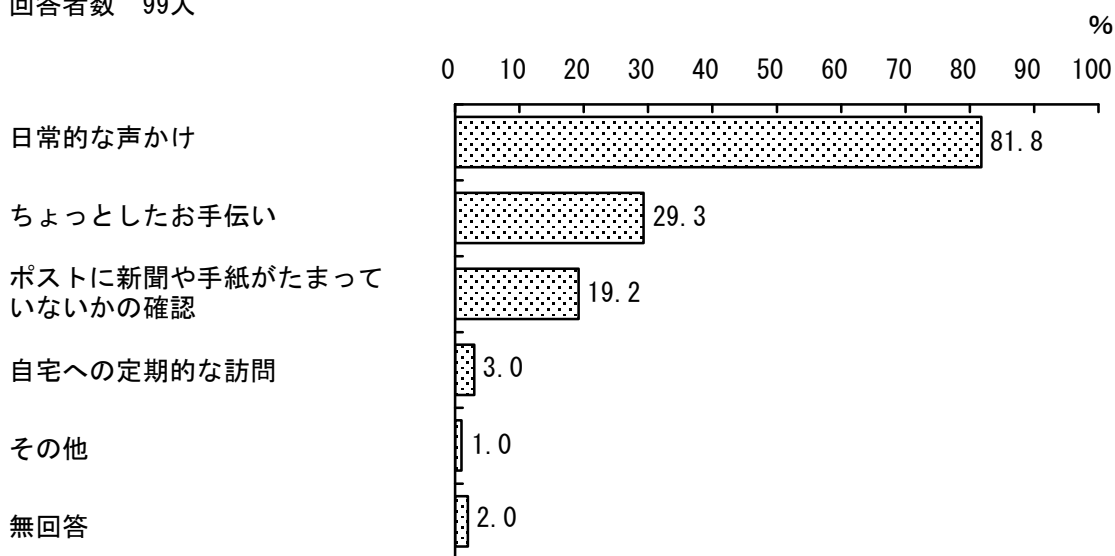
(4) 地域住民間の見守りや支えあいの活動内容

◆日常的な声かけをしている人は8割強

(問3で「1. 日常的にしている」「2. 時々している」に○をつけた方に)
問4. 具体的にどのような地域住民間の見守りや支えあいの活動ですか。
(あてはまるものすべてに○)

〈図1-16〉全体

回答者数 99人



地域住民間の見守りや支えあいの活動内容については、「日常的な声かけ」(81.8%)が最も多く、以下、「ちょっとしたお手伝い」(29.3%)、「ポストに新聞や手紙がたまっていないかの確認」(19.2%)、「自宅への定期的な訪問」(3.0%)の順になっている。(図1-16)

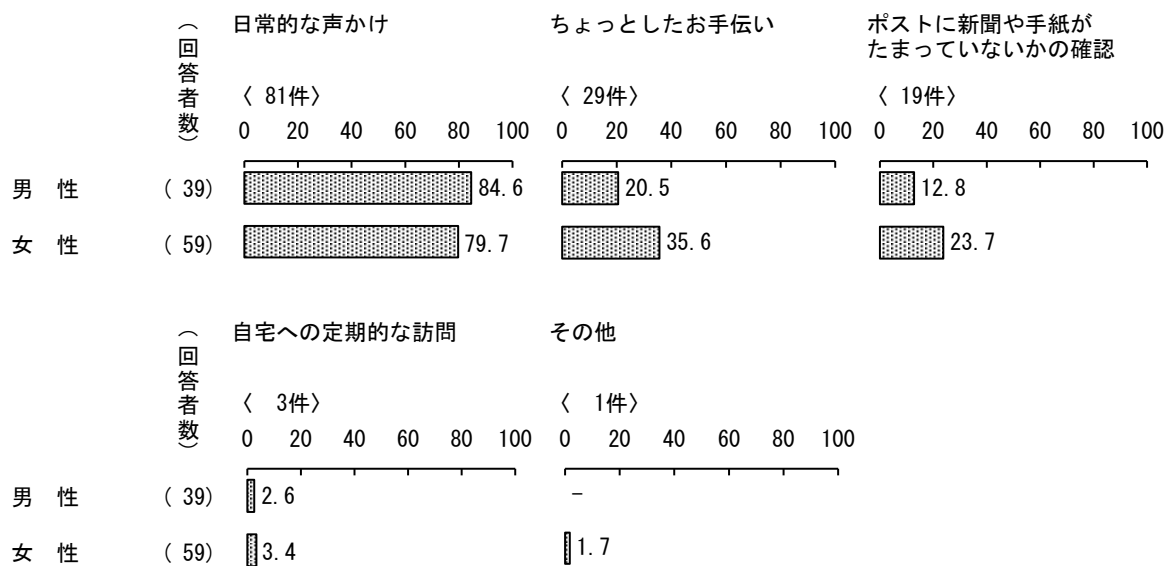
性別に見ると、男女とも「日常的な声かけ」が最も高い。また、女性の方が「ちょっとしたお手伝い」(女性35.6%、男性20.5%)で15.1ポイント、「ポストに新聞や手紙がたまっていないかの確認」(女性23.7%、男性12.8%)で10.9ポイント、ともに男性よりも高くなっている。(図1-17)

年齢別に見ると、「日常的な声かけ」と答えた人は70歳代以上で90%以上と高くなっている。(図1-18)

住居形態別に見ると、持ち家(一戸建て)の人の86.1%が「日常的な声かけ」と答えている。(図1-19)

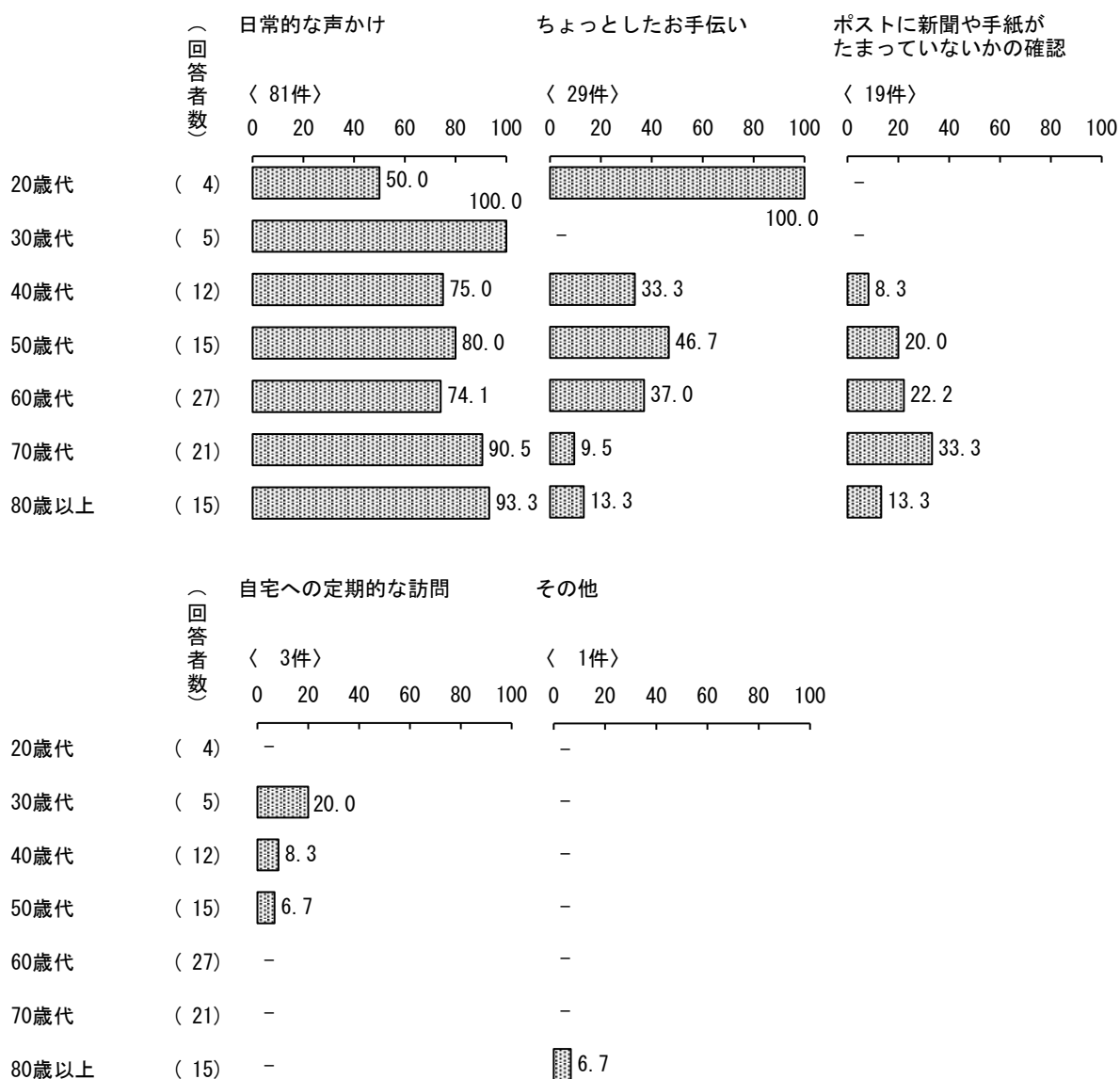
〈図1-17〉性別

(単位：%)



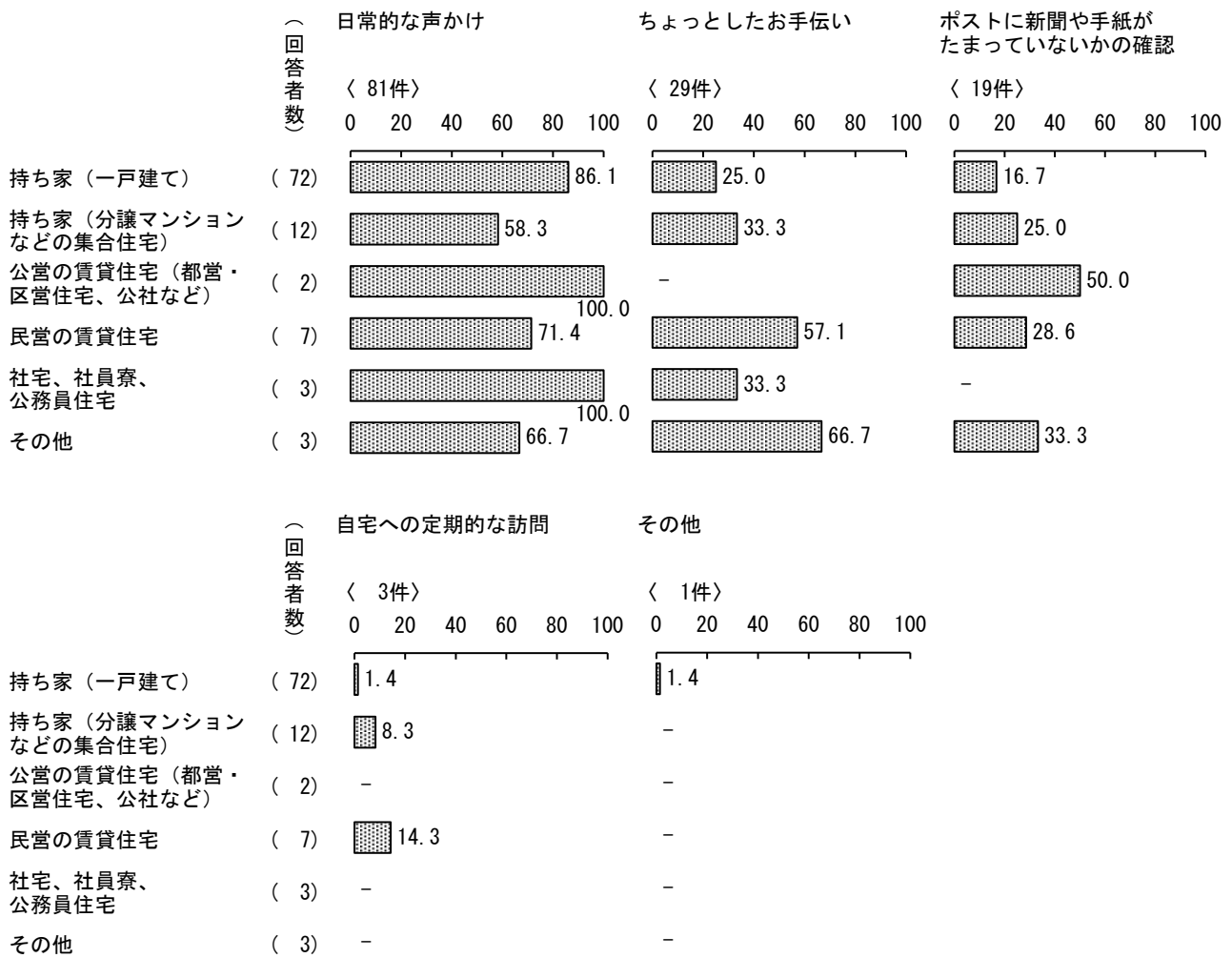
〈図1-18〉年齢別

(単位：%)



〈図 1-19〉 住居形態別

(単位：%)



(5) 民生委員の活動の認識の度合い

◆「活動内容を知っている」が1割強、「いることは知っている」が4割半

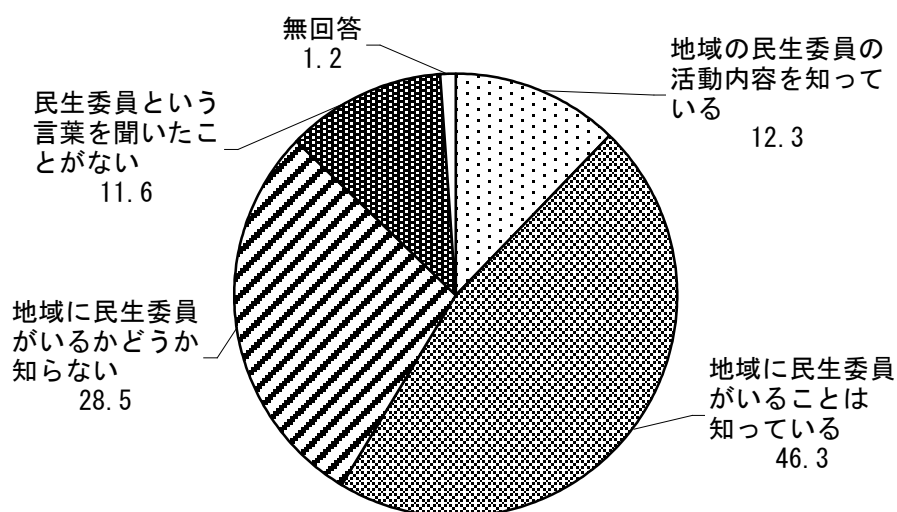
(全員の方に)

問5. 身近な相談相手として、民生委員(児童委員も兼ねます)が地域で活動していることをご存じですか。(○は1つ)

〈図1-20〉全体

回答者数 568人

単位：%



民生委員が地域で活動していることについて、「地域の民生委員の活動内容を知っている」と答えた人は12.3%、「地域に民生委員がいることは知っている」と答えた人は46.3%となっている。また、「地域に民生委員がいるかどうか知らない」と答えた人は28.5%、「民生委員という言葉聞いたことがない」と答えた人は11.6%となっている。(図1-20)

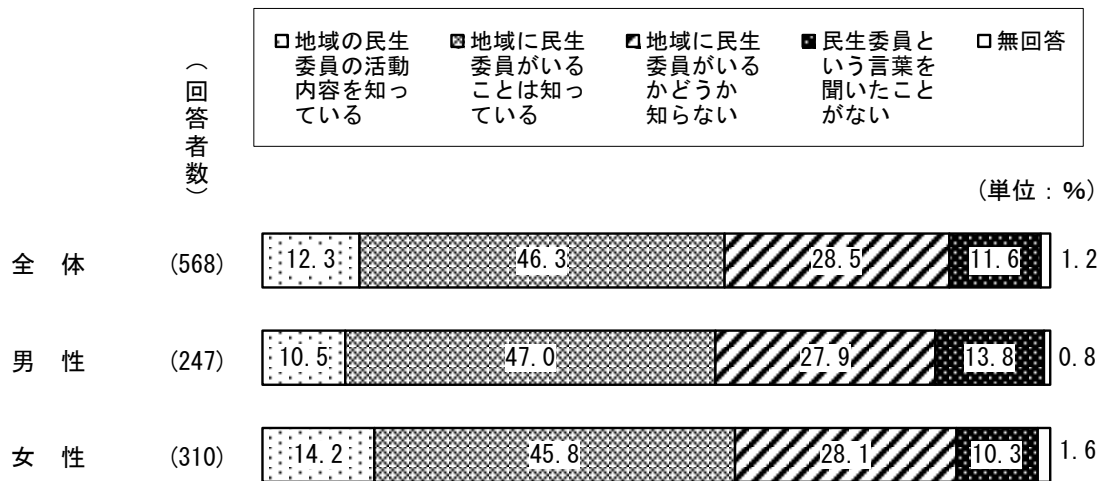
性別に見ると、男女とも「地域に民生委員がいることは知っている」と答えた人が最も高く40%台後半となっており、次いで「地域に民生委員がいるかどうか知らない」がともに約28%となっている。(図1-21)

年齢別に見ると、「地域の民生委員の活動内容を知っている」と答えた人は年齢が上がるほど高くなる傾向が見られる。「地域に民生委員がいることは知っている」と答えた人は50歳代以上で半数を超えており、特に80歳以上では66.7%と高くなっている。「地域に民生委員がいるかどうか知らない」と答えた人は30~40歳代で約4割となっており、「民生委員という言葉聞いたことがない」と答えた人は20歳代で約半数となっている。(図1-22)

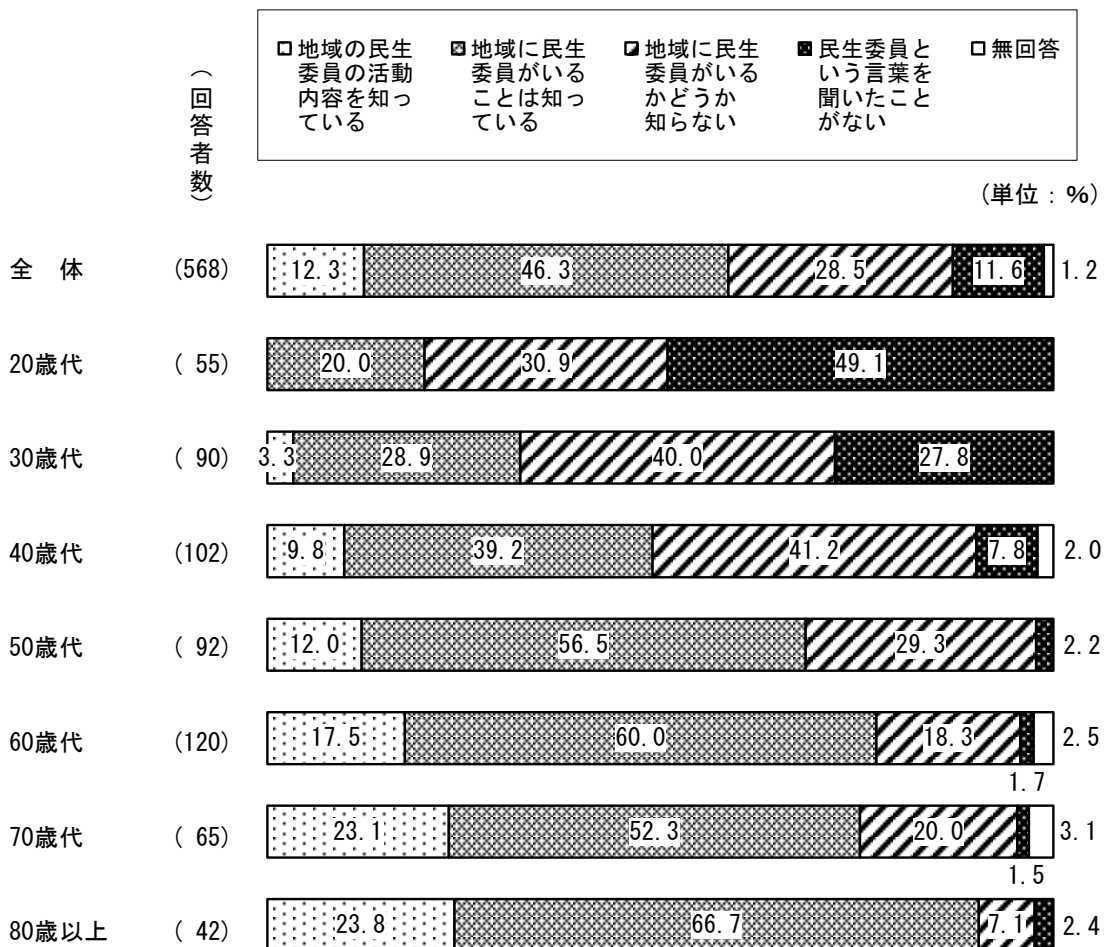
居住地域別に見ると、「民生委員という言葉聞いたことがない」と答えた人は東中野と松

が丘で30%前後となっている。(図1-23)

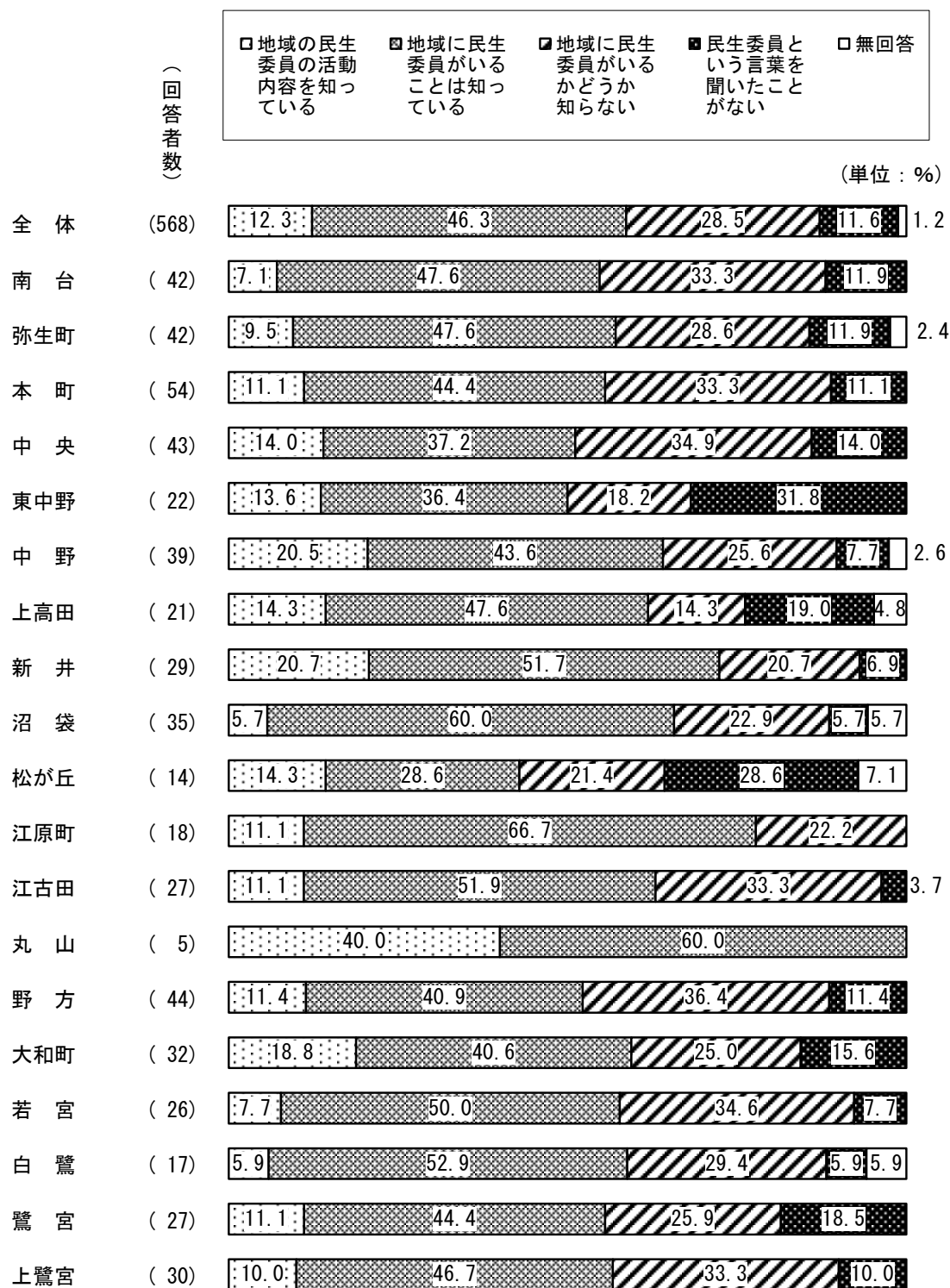
〈図1-21〉性別



〈図1-22〉年齢別



〈図1-23〉 居住地域別



(6) 高齢者福祉センターや高齢者会館の利用度合い

◆まったく利用したことがない人が8割弱

(60歳以上の方に)

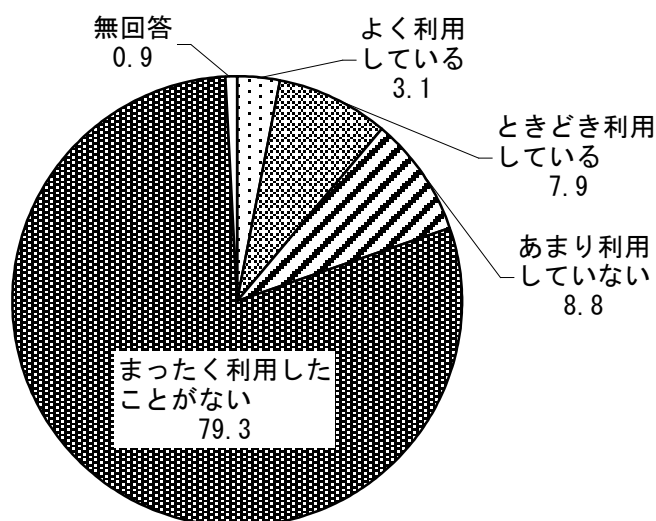
問6. あなたは、高齢者福祉センターや高齢者会館*を利用したことがありますか。

(○は1つ)

〈図1-24〉全体

回答者数 227人

単位：%



*高齢者福祉センター及び高齢者会館は、高齢者の地域における交流及び自主的な活動の促進を図るほか、高齢者が健康で充実した生活を送れるよう支援することにより、その福祉の向上を図ることを目的として、設置されているものです。

60歳以上の方に、高齢者福祉センターや高齢者会館を利用したことがあるかたずねたところ、「よく利用している」と答えた人は3.1%、「ときどき利用している」と答えた人は7.9%で、この両者を合わせた割合は1割強である。一方、「あまり利用していない」と答えた人は8.8%、「まったく利用したことがない」と答えた人は79.3%となっている。(図1-24)

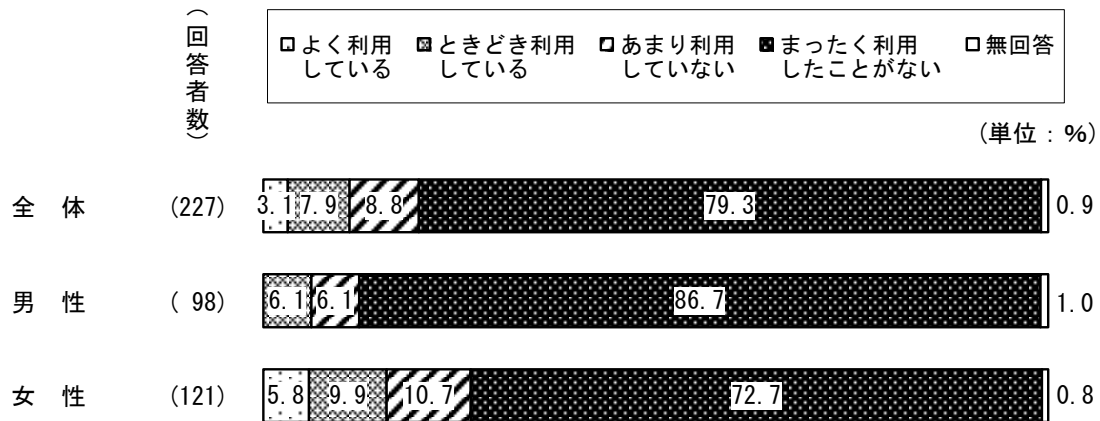
性別に見ると、男女とも「まったく利用したことがない」と答えた人が最も高く、男性で86.7%、女性で72.7%となっている。また、「よく利用している」と「ときどき利用している」を合わせた割合は、女性(15.7%)の方が男性(6.1%)より9.6ポイント高くなっている。

(図1-25)

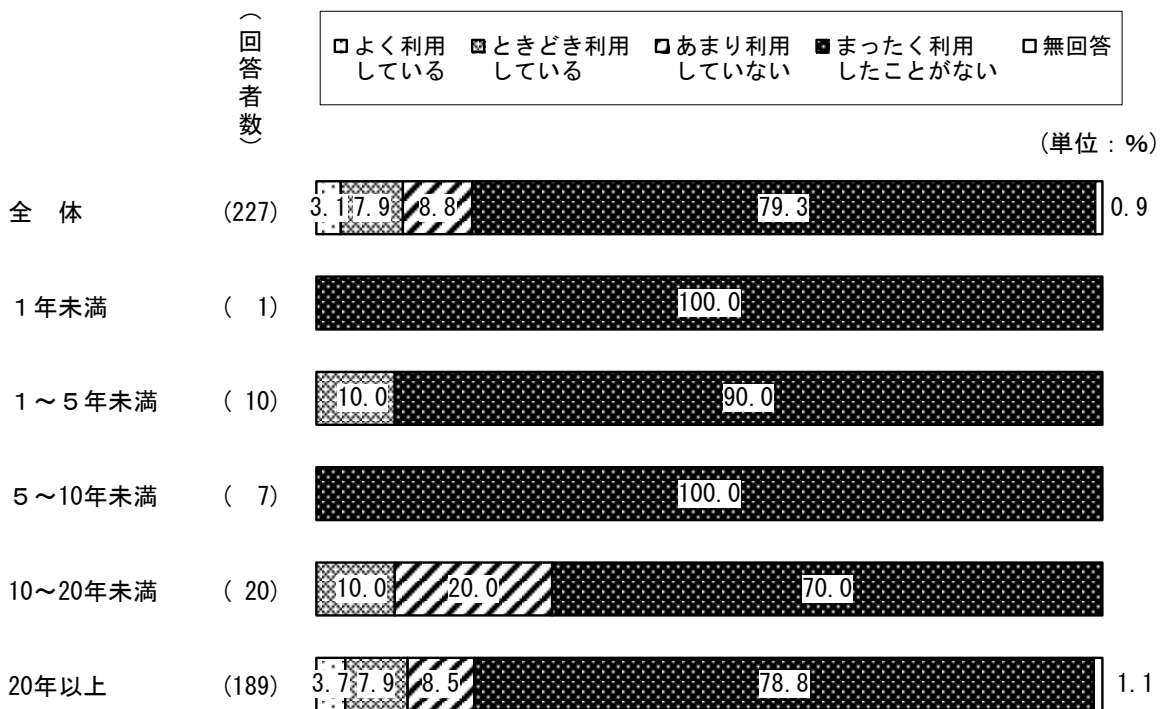
居住年数別に見ると、60歳以上の8割以上が20年以上の居住者となっており、その内の8割弱が「まったく利用したことがない」と答えている。(図1-26)

居住地域別に見ると、ほとんどの地域で、「まったく利用したことがない」と「あまり利用していない」を合わせた割合が8割以上となっている。(図1-27)

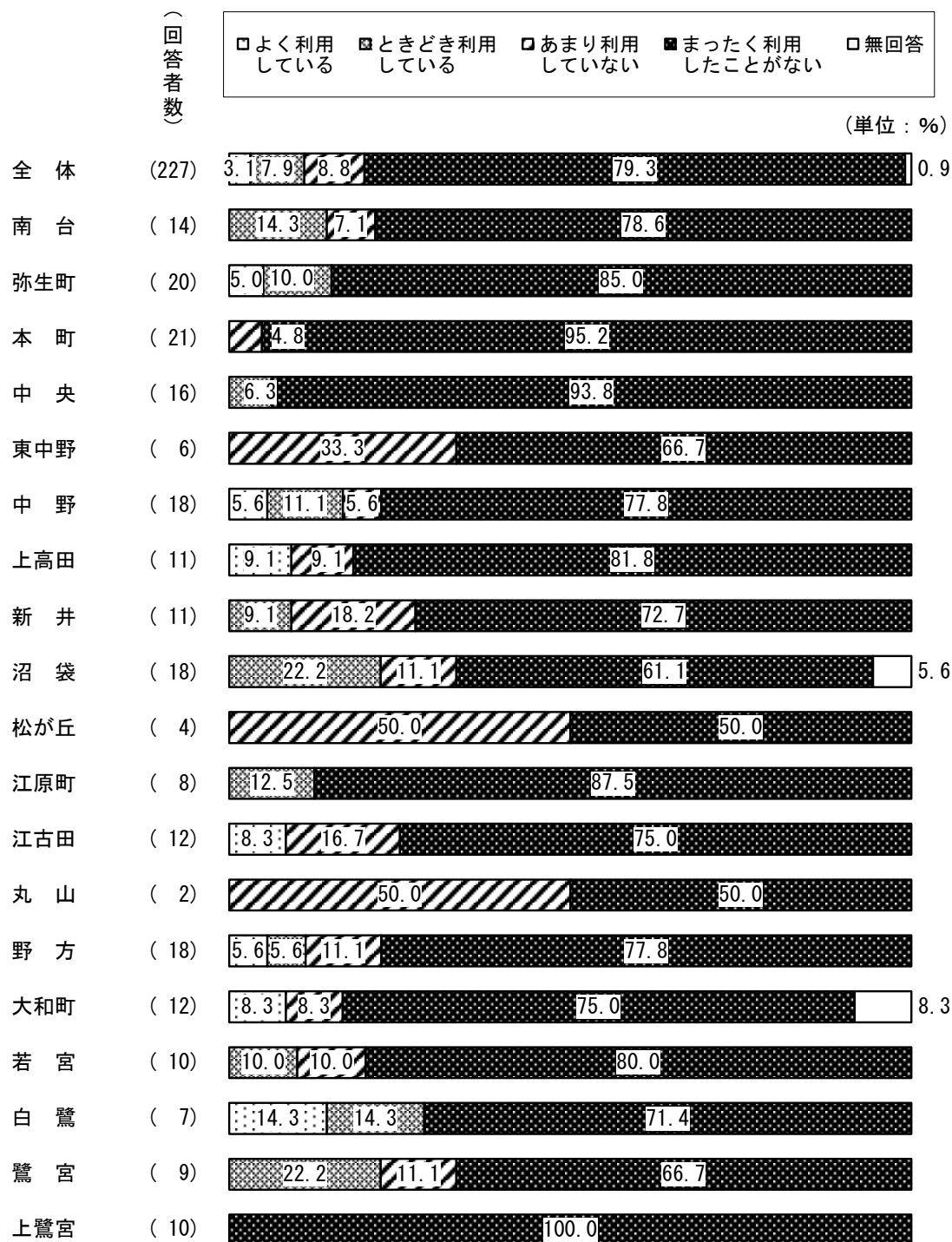
〈図1-25〉性別



〈図1-26〉居住年数別



〈図 1-27〉 居住地域別



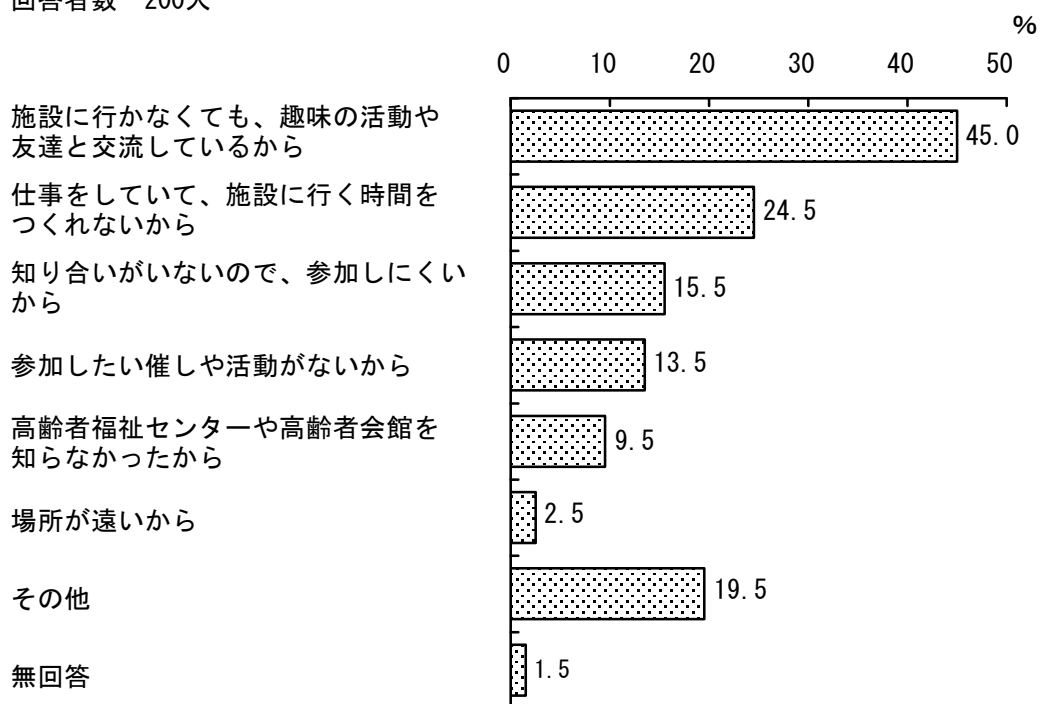
(7) 高齢者福祉センターや高齢者会館を利用していない理由

◆「施設に行かなくても、趣味の活動や友達と交流しているから」が4割半

(問6で「3. あまり利用していない」「4. まったく利用したことがない」に○をつけた方に)
問7. 利用されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

〈図1-28〉全体

回答者数 200人



60歳以上で高齢者福祉センターや高齢者会館をあまり利用したことがない、もしくはまったく利用したことがないと答えた人に、利用していない理由をたずねたところ、「施設に行かなくても、趣味の活動や友達と交流しているから」(45.0%)が最も多く、以下、「仕事をしていて、施設に行く時間をつくれなから」(24.5%)、「知り合いがないので、参加しにくいから」(15.5%)、「参加したい催しや活動がないから」(13.5%)、「高齢者福祉センターや高齢者会館を知らなかったから」(9.5%)、「場所が遠いから」(2.5%)の順になっている。

(図1-28)